

2023年3月期（2022年度） 決算説明資料

2023年4月28日
日本精化株式会社





2. 2022年度連結決算概要

- 6期連続増収増益、売上高・各利益で過去最高更新
- 一方、直近予想比では売上高・営業利益未達成

(単位:百万円)	2021年度	2022年度	前年度比 増減率(%)	直近予想 (2022年10月28日公表)		中期経営計画 (最終年度)	
	実績金額	実績金額		金額	予想比 増減率(%)	目標金額	目標比 増減率(%)
売上高	33,448	36,838	10.1%	37,400	△1.5%	39,000	△5.5%
営業利益	4,881	5,057	3.6%	5,200	△2.7%	3,900	29.7%
営業利益率(%)	14.6%	13.7%		13.9%		10.0%	
経常利益	5,127	5,389	5.1%	5,550	△2.9%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,472	4,079	17.5%	3,750	8.8%		
1株当たり当期純利益 (円)	146.32	174.42		158.69			
EBITDA (償却前営業利益)	5,952	6,008	0.9%				



2. 2022年度連結決算概要

- 工業用製品：前年度比増加も営業利益増加幅縮小（予想並み）
- 家庭用製品：新型コロナ落ち着き2021年度からの減少傾向継続

報告セグメント (単位:百万円)		2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 前年度比増減	
					金額	率
工業用製品	売上高	19,305	23,600	27,183	3,582	15.2%
	営業利益	2,293	3,621	3,958	336	9.3%
	営業利益率	11.9%	15.3%	14.6%		
家庭用製品	売上高	10,069	8,646	8,272	△ 374	△4.3%
	営業利益	1,423	927	674	△ 252	△27.3%
	営業利益率	14.1%	10.7%	8.2%		
その他※	売上高	1,134	1,201	1,382	180	15.1%
	営業利益	223	332	423	91	27.4%
	営業利益率	19.7%	27.7%	30.6%		

※その他：不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業



2. 2022年度連結決算概要

・主要事業区分ごとの売上高の状況

報告セグメント	主要事業	状況 (前年度比)	概要
工業用 製品	化粧品事業 (化粧品用原料)	+19%	化粧品用原料の顧客製品への新規採用と国内外化粧品市場の緩やかな回復による販売増加
	ラノリン・ コレステロール事業	+6%	前年度(2021年度)大幅に増加した海外向けが引き続き好調(前年度下期から伸長、伸び率鈍化)
	リピッド事業 (医薬品用リン脂質)	+1%	海外向け販売は安定 (新プラント稼働は2023年4月に若干遅延)
	精密化学品事業	+23%	脂肪酸アמידが価格転嫁進み更に伸長
家庭用 製品	アルボース	△4%	年間にわたって新型コロナウイルス感染症対策製品の法人需要低下

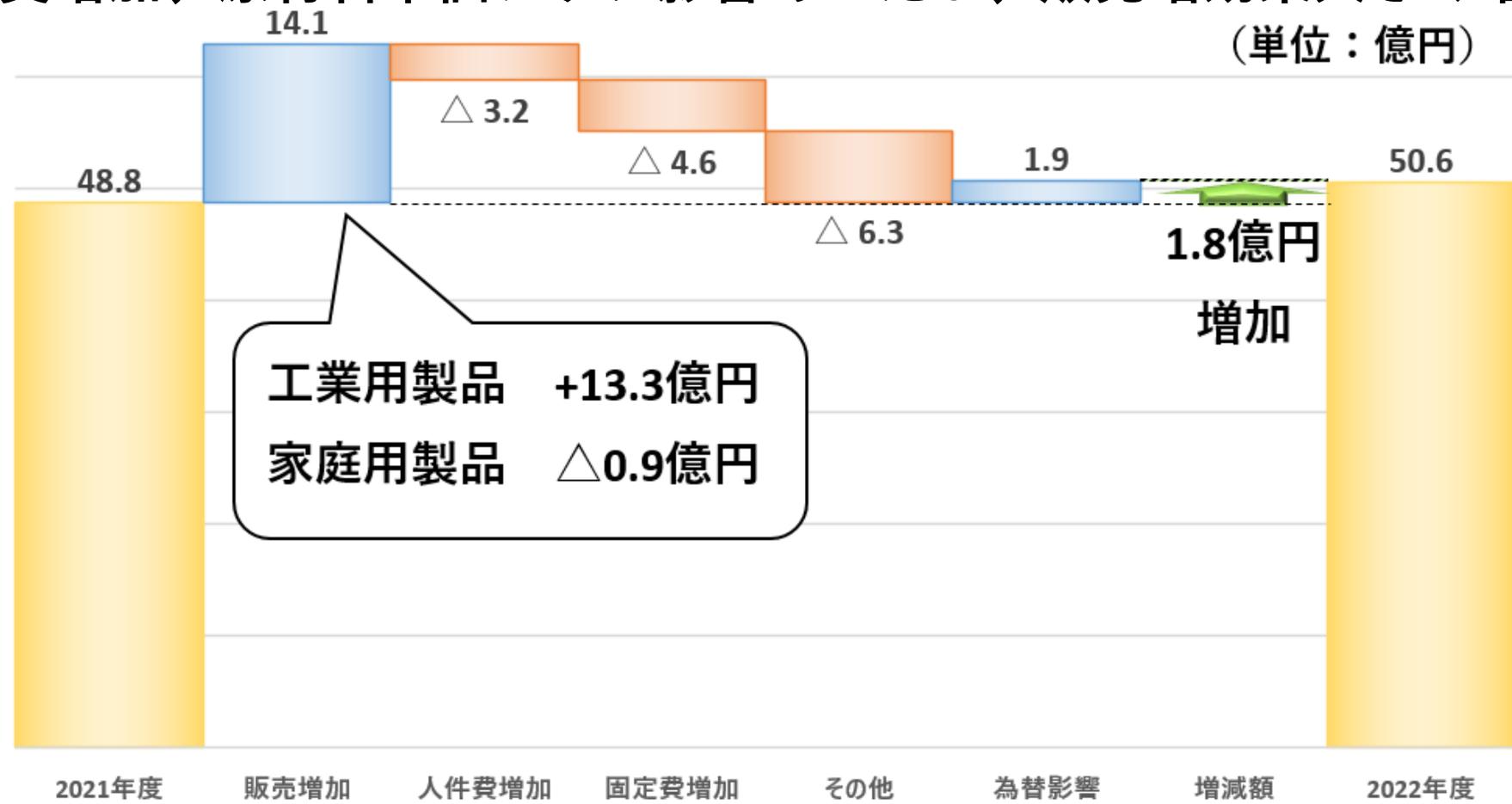


2. 2022年度連結決算概要

・営業利益増減分析（対前年度比）

固定費増加、原材料単価アップ影響あったが、販売増効果大きく増益

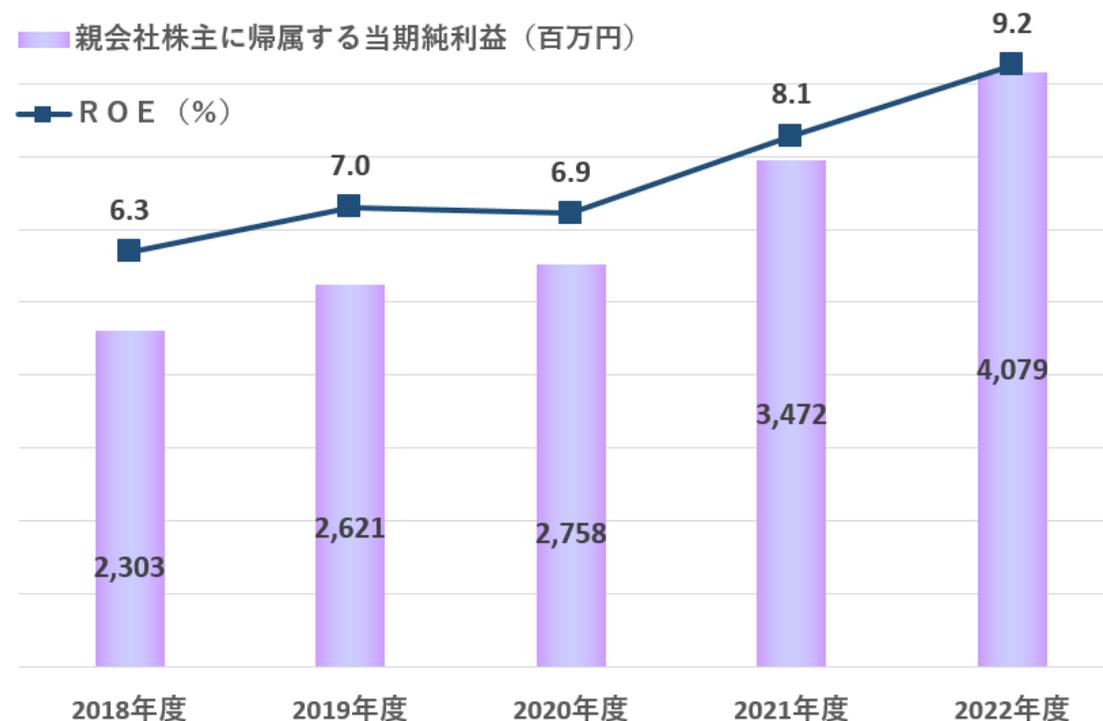
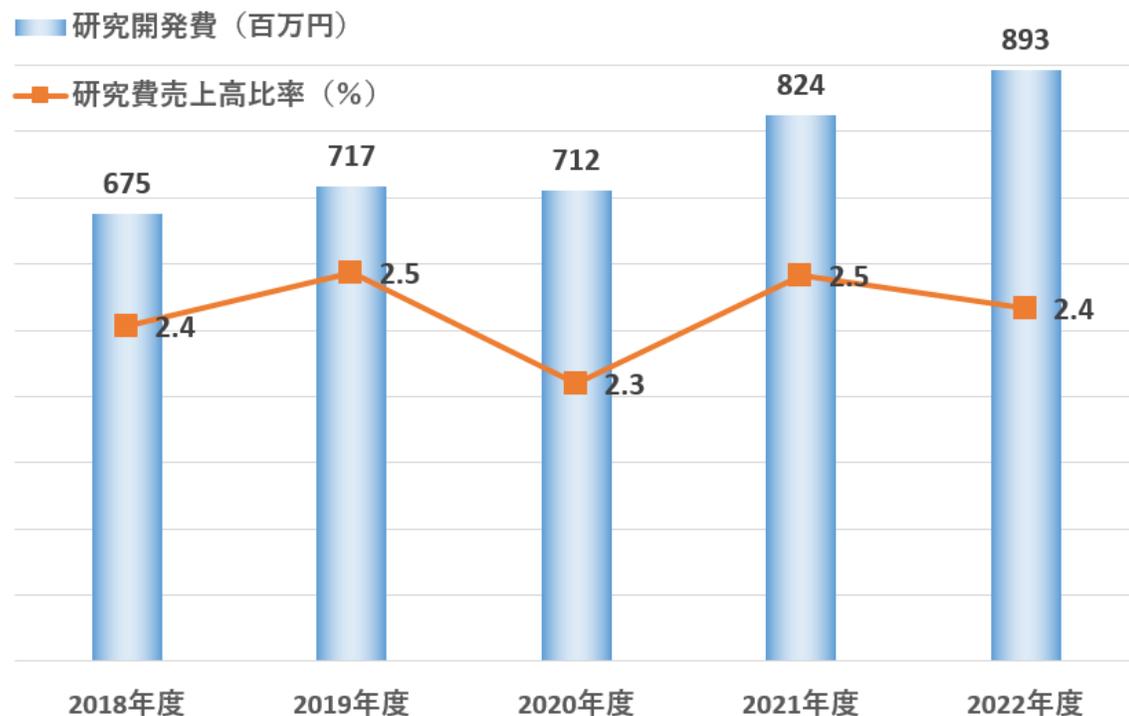
(単位：億円)





2. 2022年度連結決算概要

・(連結)研究開発費及びR O E 推移



- ・ 医薬品用リン脂質やペロブスカイト太陽電池素材等に注力、研究開発費は増加、2年連続で過去最高更新
- ・ 売上高も増加した為、研究費売上高比率は若干の低下

- ・ R O E は、経常利益増加に加え、特別利益計上により前年度を超え過去最高連続更新



2. 2022年度連結決算概要

・貸借対照表（単位：百万円）

勘定科目	2022年度末残高	前年度末比増減	主な増減要因
現預金	8,937	△3,925	
売掛債権	8,855	+152	販売増加
たな卸資産	11,009	+2,589	原材料確保、原材料価格上昇
有形固定資産	14,227	+1,454	医薬品用リン脂質投資
投資その他資産	12,332	+829	一部売却も、投資有価証券含み益増加
その他	1,309	+764	
資産合計	56,672	+1,865	
買掛債務	4,256	+328	
繰延税金負債	2,655	+387	
その他	3,659	△391	
負債合計	10,571	+324	
純資産合計	46,101	+1,540	自己資本比率79.9%（前年度末比+0.1%）
一株当たり純資産	1,984.58円	+132.74円	

増配・自己株式取得により
現預金減少も、
業績好調・設備投資により
資産増加



2. 2022年度連結決算概要

・キャッシュ・フロー（CF）計算書（単位：百万円）

区分	2022年度	主な要因
税引前利益	5,643	
減価償却費	951	
運転資本増加	△2,372	原材料確保、原材料価格上昇影響
法人税等支払	△1,756	
その他	△1,026	
営業CF	1,439	
投資CF	△1,779	有形固定資産取得△2,606
（フリーCF）	（△340）	
財務CF	△3,320	自己株式取得△1,885、配当△1,346
換算差額	16	
現金同等物増減	△3,644	

税引前利益増加も、運転資本増加によるマイナス影響あり

設備投資・自己株式取得・配当（増配）により現金同等物は減少継続



3. 2022年度トピックス（ポートフォリオ）

・事業・資産ポートフォリオの最適化を継続

① 減損処理済資産の売却

前年度（2021年度）に減損処理した不動産を売却

⇒ 固定資産売却益**81百万円**を計上

② 政策保有株式の一部を売却、自社株買いを実施

⇒ 投資有価証券売却益**212百万円**を計上、総還元性向**79%**程度に

③ 国内連結子会社間の吸収合併

⇒ 組織運営効率化目指し日精興産を日精バイリスに吸収合併(2023年4月)

今後も事業・資産ポートフォリオの最適化に取り組む



3. 2022年度トピックス（設備投資）

・ 主な設備投資計画進捗状況

（2022年5月決算説明資料より、赤字が最新状況）

事業	投資案件	投資金額	生産能力等	稼働予定時期
リピッド事業 (医薬品用 リン脂質)	① 医薬品用 リン脂質 新プラント	27億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現有プラントの約2倍 ・ 小～中規模スケール 高付加価値品製造に対応 	2022年度下期 ⇒ 2023年4月 に稼働開始 (若干の遅れ)
	② ギリアドとの アライアンスに 基づく新工場	②③合計 31億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現有工場の約2倍 	2024年頃 ⇒ 2023年中に 稼働予定 (前倒し)
	③ 医薬品用 リン脂質 事務所棟新設		<ul style="list-style-type: none"> ・ 5階建て ・ 研究機能併設 	2022年度上期 ⇒ 予定通り稼 働開始
	総額		58億円	⇒ 約53億円（生産能力には影響なし）





4. 2023年度連結業績予想

- 売上高は前年度比増加・過去最高更新見通しも営業利益は減少
- 減価償却費増加により、EBITDAは前年度比増加

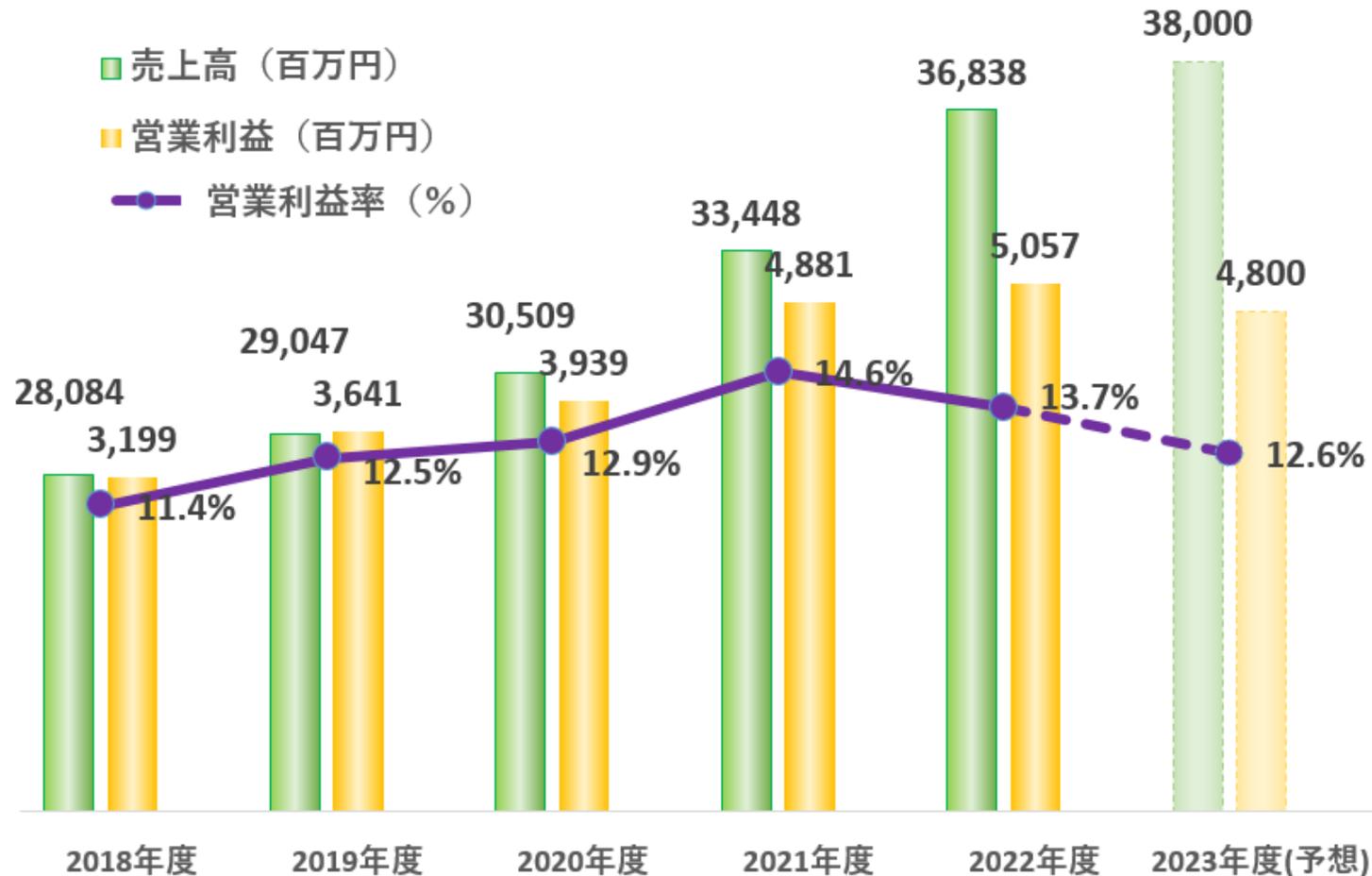
(単位:百万円)	2022年度	2023年度	前年度比 増減率(%)
	実績金額	予想金額	
売上高	36,838	38,000	3.2%
営業利益	5,057	4,800	△5.1%
営業利益率(%)	13.7%	12.6%	
経常利益	5,389	5,150	△4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,079	3,600	△11.8%
1株当たり当期純利益 (円)	174.42	157.83	
EBITDA (償却前営業利益)	6,008	6,100	1.5%

※前提レート
1米ドル=130円
1ユーロ=130円



4. 2023年度連結業績予想

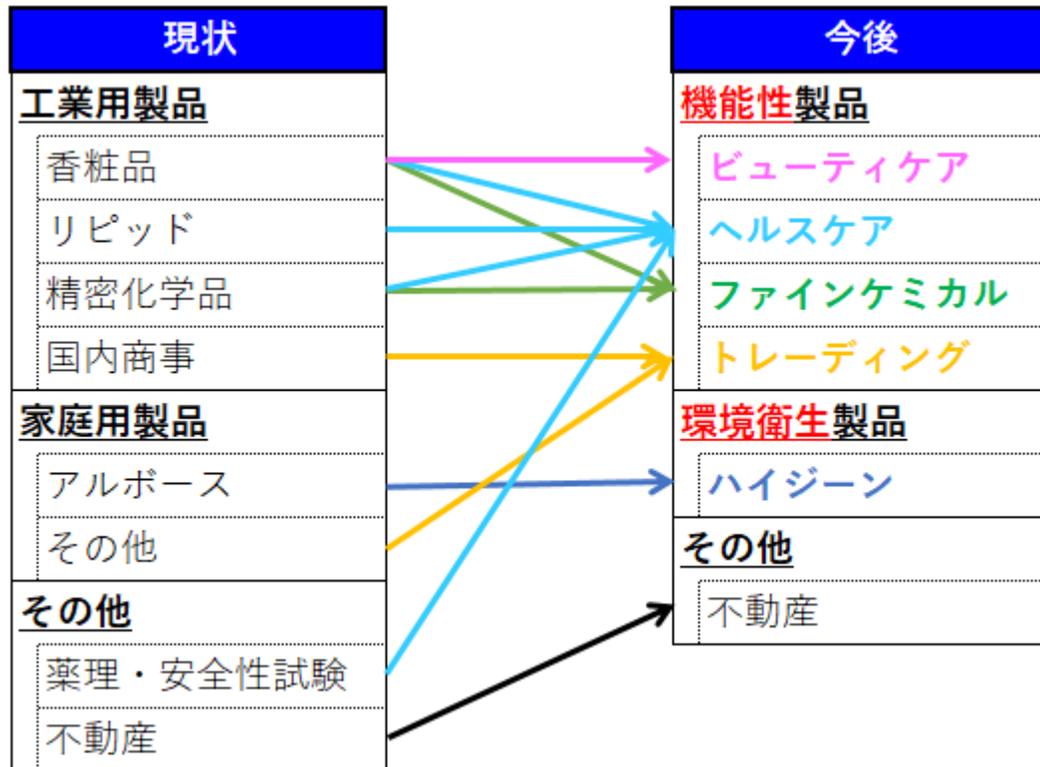
・売上高、営業利益及び営業利益率推移



4. 2023年度連結業績予想

・セグメント区分の見直し

⇒今後の事業戦略強化をにらみ、工業用製品としてまとめていた事業セグメントを、事業分野に基づき、**ビューティケア**、**ヘルスケア**、**ファインケミカル**及び**トレーディング**に細分化し任意開示

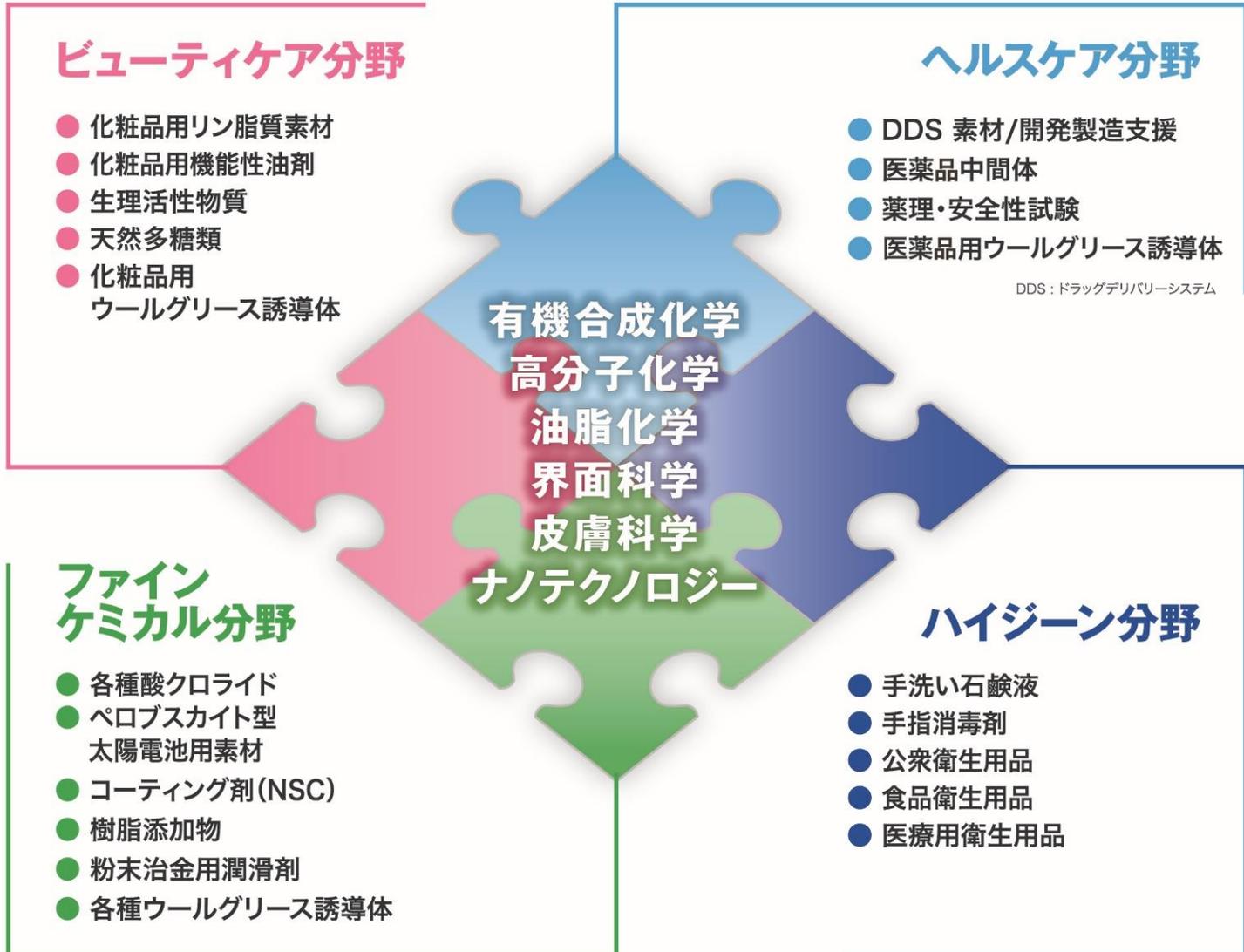


●変更点

- ・香粧品事業（含ラノリン・コレステロール）、リピッド事業及び精密化学品事業を、事業分野に基づき、**ビューティケア**・**ヘルスケア**・**ファインケミカル**に再編した上で、機能性製品セグメントに名称変更
- ・家庭用製品セグメントをアルポーヌのみとした上で、環境衛生製品セグメント（**ハイジーン**）に名称変更
- ・その他にある薬理・安全性試験を機能性製品セグメントの**ヘルスケア**に編入



4. 2023年度連結業績予想





4. 2023年度連結業績予想

- 機能性製品 : 大型投資の減価償却費負担重く、営業利益減少
- 環境衛生製品 : 価格転嫁が進み、売上高、営業利益回復

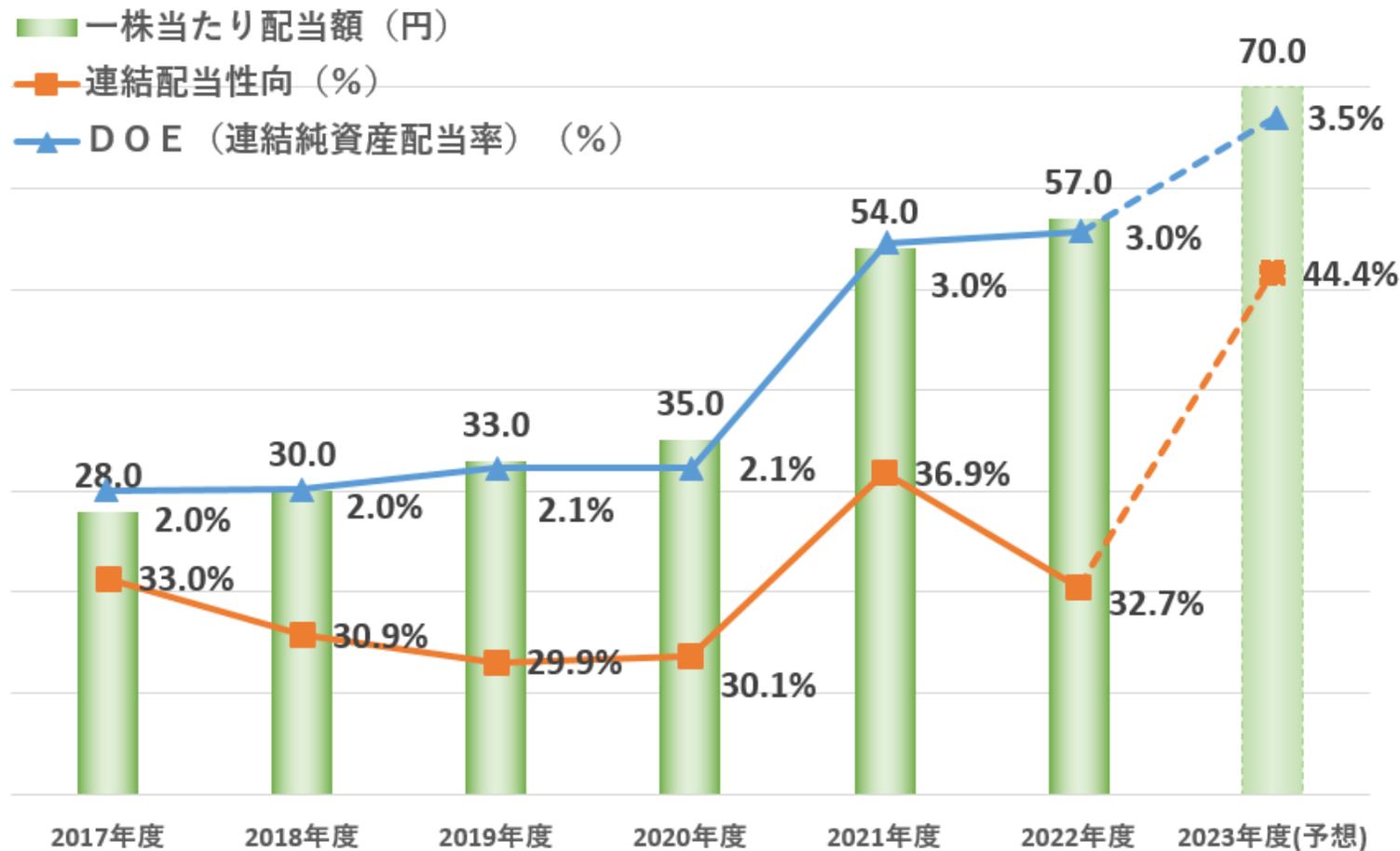
(単位：億円)	155期実績			156期計画		
	2022年度			2023年度		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	284	41	50	280	37	49
ビューティケア	76	20		89	20	
ヘルスケア	57	9		59	4	
ファインケミカル	64	9		51	9	
トレーディング	85	2		79	3	
環境衛生製品	80	7	8	97	10	10
その他	3	1	1	2	1	1
連結合計	368	50	60	380	48	61

※その他：不動産事業



4. 2023年度連結業績予想

- 2022年度は前期比+ 3 円 / 株の57円 / 株(6 期連続増配)
- 2023年度は配当方針を変更、更に増配継続予想



※配当方針変更
 DOE (連結純資産配当率) 3.0%目安
 ⇒ 3.5%目安に変更



- 本資料に記載している業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。